



100年の時を経た地下水がある暮らしを守るために

町の水道水における PFOS・PFOA について

町では、水道水および全ての水道水源井戸の原水に含まれるPFOS・PFOA(※)について、令和2年度から検査を行っており、町の水道水のPFOSとPFOAの濃度の合計は、国が定める暫定目標値を下回っています。今回は、私たちの生活に欠かせない水道水を今後も安心して飲んでいただけるよう、水道水のPFOS・PFOAに関する町の対応状況などをお知らせします。

※ PFOS・PFOA：有機フッ素化合物の一種。詳しくは、本紙9ページで説明しています。

問い合わせ 上下水道課

【岡垣町の大切な財産「地下水」】



岡垣町は、響灘に面する三里松原、孔大寺山や湯川山をはじめとする山々など、豊かな自然に囲まれています。昔から守られてきたこれらの大切な町の財産からは、長い歳月をかけて磨かれたミネラル豊富な地下水がもたらされています。

町内には6カ所の水源に14本の井戸があり、町の水道水の約85%は地下水を使用しています。また、地下水は農業のかんがい用などさまざまな用途でも使われ、私たちの生活に密接に関係しています。

【安全な水道水をお届けします】

厚生労働省は、令和2年4月にPFOS・PFOAを水道水の水質管理目標設定項目に位置付け、その暫定目標値をPFOSとPFOAの合計で50ng/L(※)と設定しています。

町では、水質が状況により変化することから、国が定める暫定目標値の半分の値である25ng/Lを自主管理目標値と設定し、水道水のPFOS・PFOAの管理を行い、水道水の安全を確保しています。

※ ng/L：ナノグラム・パー・リットル。水1リットルあたり10億分の1グラムの物質が溶解していることを表します。

令和3年10月	令和3年9月	令和3年2月	令和2年11月	令和2年4月
● 水道水の水質検査を実施（以降、水道水及び糠塚水源の水質検査を適宜行い、糠塚水源3号井戸の運転時間調整により水質を管理）	● 糠塚水源3号井戸の運転時間を短縮して取水を再開	● 糠塚水源3号井戸の取水を停止	● 糠塚水源で水質検査を実施（糠塚水源3号井戸で暫定目標値超過を確認）	● 国が水道水のPFOS・PFOAの暫定目標値を設定（50ng/L）

PFOS・PFOAに関する
しるしをのこすかわり



【PFOS・PFOA に関する調査結果の公表と町の見解】

●調査結果

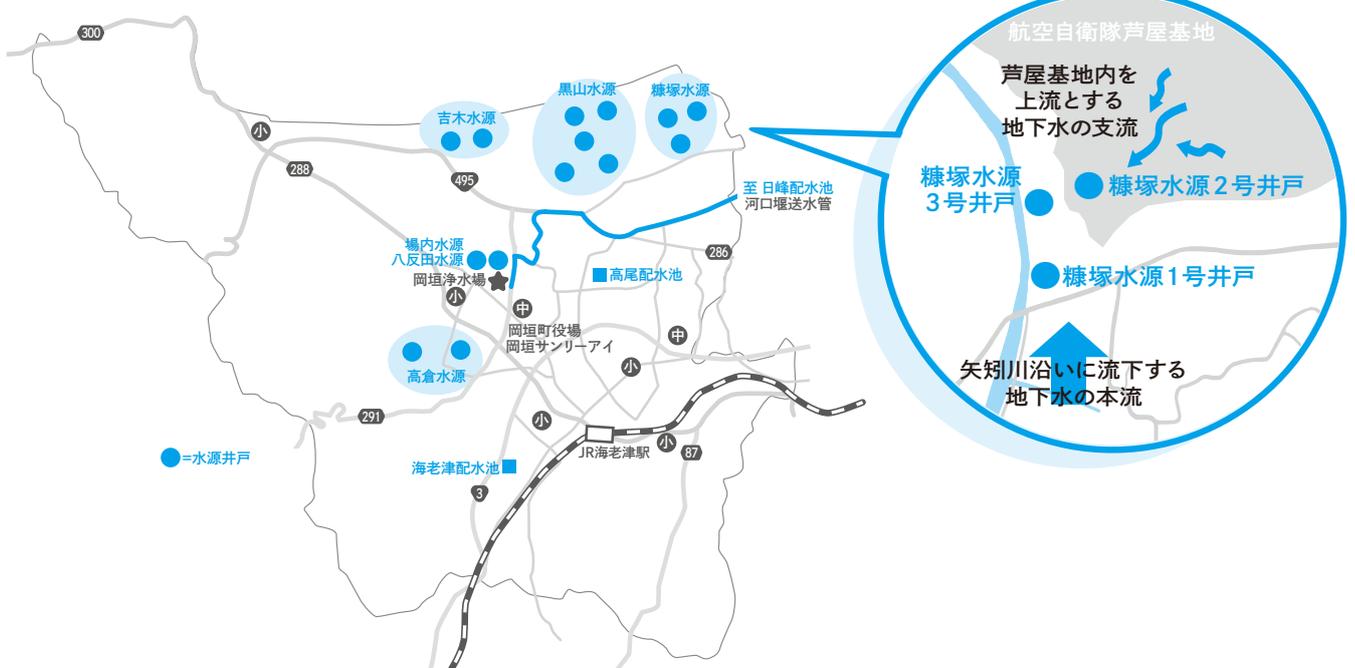
令和6年11月に国土交通省と環境省から、全国の「水道事業及び水道用水供給事業分」のPFOS・PFOAの調査結果が公表されました。さらに、令和6年12月には「専用水道分」のPFOS・PFOAの調査結果も追加で公表され、航空自衛隊芦屋基地専用水道（水道法に規定する自家用水道）の水道水で暫定目標値（50ng/L）を超える1500ng/Lが検出されたことが分かりました。

●町の見解

航空自衛隊芦屋基地が専用水道の水源として利用している井戸は、基地南東部の芦屋町域に位置しています。町が管理する糠塚水源は芦屋基地内の南西端とその隣接地に位置しているため、芦屋基地の専用水道の水源井戸とは、滑走路を挟んで反対側の位置関係となっています。

現時点では芦屋基地の専用水道の水源井戸と糠塚水源の関連性は認められませんが、比較的高いPFOS・PFOAの数値が確認されている糠塚水源周辺の地形から見ると、基地南西部から糠塚水源へ向けての表流水や地下水の流れが影響している可能性があると考えています。

水源の各井戸の位置と糠塚水源で想定される地下水の流れ



令和7年3月	令和7年3月	令和7年2月	令和7年1月	令和6年12月	令和6年11月	令和6年5月
●福岡県知事と芦屋町長、岡垣町長および遠賀町長の連名で要請書を提出	●飲用、農業などで使う井戸水の水質検査費用の一部補助を開始	●芦屋基地および九州防衛局に対し町長・議長の連名で要請書を提出	●糠塚水源3号井戸の取水を維持管理、運転を除いて停止し、影響調査を開始	●国が芦屋基地専用水道の水質調査結果を公表	●国が全国の水道水質調査結果を公表	●糠塚水源3号井戸から半径500m以内の5カ所の井戸所有者に対し、宗像・遠賀保健福祉環境事務所（町職員帯同）がPFOS・PFOAの検出状況を説明し、飲用を控えることなどを助言



【町の取り組み】

●航空自衛隊芦屋基地および九州防衛局への要望活動

令和7年2月6日に航空自衛隊芦屋基地、2月7日に九州防衛局に対し、芦屋基地内の地下水の流動調査などによる、PFOS・PFOA 検出の原因究明や PFOS・PFOA を除去する施設の設置および管理、新たな水源井戸の確保などの対策に必要な事業費補助について、議会と連名で要望書を提出しました。

また、3月28日に航空自衛隊芦屋基地および九州防衛局に対し、PFOS・PFOA の超過の原因究明や対策について、福岡県知事と芦屋町長、岡垣町長および遠賀町長の連名で要請書を提出しました。



▲3月28日の要請書提出の様子

●糠塚水源における影響調査

糠塚水源は、芦屋基地内とその周辺地域にある3本の井戸で構成されています。PFOS・PFOA が比較的高濃度の糠塚水源3号井戸は、令和7年1月6日から維持管理運転を除き取水を停止しています。この状態で1号井戸と2号井戸での影響調査を、まずは6カ月の期間で実施しています。その調査の結果に基づき、今後の糠塚水源の在り方について検討することとしています。

国の動き

環境省の中央環境審議会水環境・土壌農薬部会の水道水質・衛生管理小委員会で、令和8年4月から水道水の水質基準に PFOS・PFOA を加える議論が進められています。

井戸水の水質検査費用を一部補助します

所有する井戸について、自主的に検査を行う人を対象に水質検査費用の一部を補助します。

対象 町内に井戸を設置しているもの（個人・事業者）※農業用井戸も含む

水質検査項目 PFOS・PFOA

補助額 水質検査費用の2分の1※上限 25,000 円

申請方法 申請書や見積書など水質検査費用が分かる書類などを、住民環境課に提出

問い合わせ 住民環境課



▲詳しくは
コチラ



▲町公式ホームページ

最新情報は
コチラ

岡垣町では、今後も、住民の皆さまに安心して水道水を飲んでいただけるよう、定期的に PFOS・PFOA の監視を行い、情報発信を行いながら安全な水道水をお届けします。





知っておきたい

PFOS・PFOA について

出典：環境省「PFOS、PFOA に関する Q&A 集」

▼もっと詳しく知りたい方はコチラをご覧ください▼



◀環境省リーフレット



◀環境省「PFOS、PFOA に関する Q&A 集」



PFOS・PFOA とは？

有機フッ素化合物 (PFAS) の一種で、水や油をはじき、熱に強いなどの特性があります。そのため、PFOS は泡消火薬剤など、PFOA は撥水剤などに使われていました。これらは、分解されにくい性質があるため、今も環境中に残っています。

健康への影響は？

動物実験などにより、免疫系や肝臓などへの有害な影響の原因となり得ることが指摘されています。しかし、どのくらいの量が人間の体に入ると影響が出るのかについては、十分な知見はありません。



体に入った PFOS・PFOA は残留する？

消化管から体内に吸収された後、ゆっくりではありますが、体外に排泄されていくと考えられています。例えば、欧州食品安全機関によると、新たな摂取がない場合、人の体内の濃度が半分になるまでの時間は、PFOS で平均 5.7 年、PFOA で平均 3.2 年とされています。

水道水の PFOS・PFOA の値は？

国では、体重 50 キログラムの人が毎日 2 リットルを一生飲み続けても健康に影響がない値として、水道水の暫定目標値を PFOS と PFOA の合計で 50ng/L と設定しています。岡垣町では、水質変動のリスクを考慮し、国の暫定目標値の半分の 25ng/L を自主管理目標値として設定しています。



フッ素樹脂コーティングの調理器具を使っても大丈夫？

PFOS・PFOA はすでに製造・輸入などが禁止されているため、身の回りの製品で心配するようなことはありません。フライパンや撥水スプレーに使われるフッ素樹脂は、PFOS・PFOA とは別の物質です。なお、歯磨き粉などで虫歯予防のために使用するフッ素は、PFAS とは全く異なる物質です。

規制は？

国際的な「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」に基づき、PFOS は 2009 年に、PFOA は 2019 年に廃絶などの対象とすることが決められています。日本でも「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に基づき、PFOS は 2010 年、PFOA は 2021 年に製造・輸入などを原則禁止しています。

